SecuROI

無料の資料

無料の資料を1か所に集めました。登録は要りません。**全部を読む必要はありません。**立場と、いま困っていることで1つ選んでください。

立場で選ぶ

取締役・監査役の方
執行側に何を聞けばよいかが分からない → **17の問い**

社長・情報システムの責任者の方
重大な脆弱性が出た日に、止めるか続けるかを決められない → **判断表**

外部サービスや委託先を使っている方
預け先の中が見えない → **7つの問い（点検表に同梱）**

一覧

資料	主な読み手	何が分かるか	形式	公開
国の注意喚起 対応点検表（2026年10月版） / Excel	情報システムの担当者	自社がどこまでできているかを53問で確かめる	Excel・PDF	2026年10月（11月13日に更新）
取締役・監査等委員が執行側に聞く17の問い	取締役・監査役	聞く言葉と、見せてもらう物と、「分からない」の意味	PDF（A4 横・3ページ）	2026年11月（11月6日に案内）
重大な脆弱性が公表された朝の判断表	社長・情報システムの責任者	止める人・止める基準・第1報を、事件の前に決めておく	PDF	2026年11月10日 公開予定
預け先に聞く7つの問い	外部サービスを使う会社	そのまま送れる質問票と、返事の読み方	点検表に同梱	2026年11月13日 公開予定
SCS 評価制度対応 現在地把握ガイド	IPO 準備・取引先審査に関わる方	制度の要点と、自社の現在地の確かめ方	PDF	2026年7月
最初の90日の実行地図 / Excel	情報システムの担当者	何から手を付けるか、20タスクの順番と根拠	PDF・Excel	2026年9月
IT統制整備標準ロードマップ	情報システム・管理部門	IT統制をどの順で整えるかの型	PDF	2026年
AI による攻撃も、通る道は同じ	経営・情報システム	AI が使われても、入口と対策は変わらないこと	PDF	2026年10月
経営サマリーの見本	経営	診断の結果がどう出てくるか	PDF	2026年
四半期の推移の見本	経営	前期との差がどう見えるか	PDF	2026年

いずれも無料で、登録は要りません。「公開予定」の行は、その日に同じ場所へ置きます。

使うと何が変わるか

いまは、事故の報道を見て不安になっても、翌朝に何をするかが決まりません。社内のやりとりは「うちは大丈夫か」「たぶん大丈夫です」で終わり、確かめた記録も残りません。

読み手	いま	資料を使った後	かかる時間
取締役・監査役	「大丈夫か」と聞いて「はい」が返る	「物を見せてください」と言える。出てこない「はい」は「分からない」と同じだと分かる	3問で約5分
情報システム	聞かれる順番が読めない。事故のときに文面から考える	聞かれる順番が先に分かる。第1報の固定文が埋まっている	判断表で約30分
外部サービスを使う側	預け先の中は見えないまま契約を続ける	7つの問いを送れる。返ってこない項目が分かる	送って約10分
外部サービスを出す側	事故のたびに顧客から個別に問われる	聞かれる前に答えを用意できる	7問に自社で答える
会社として	止めるかどうかを、その場の空気で決める	止める判断の権限と基準が1枚にある。迷う時間が消える	判断表の7つの欄

到達の目安は3段です。**今週**は17の問いのうち3つを聞く。**今月**は判断表の7つの欄を埋め、委託先1社に7つの問いを送る。**四半期**で点検表53問を埋める。満点は目標にしていません。今月の段まで来れば、取締役会で説明できる状態です。

使い分け

点検表53問は、**自社が答える**表です。17の問いは、**それを外から見る立場が聞く**表です。同じ項目番号で対応しています。

判断表は、点検表で「不明」「いいえ」だった項目について、誰がいつ決めるかを書く1枚です。

7つの問いは、同じことを預け先に聞くための質問票です。点検表に同梱しているので、別に入手する必要はありません。

※新しい版が出たら、同じ場所の資料を置き換えます。**リンクは変わりません。**古い版は残しません。版は資料の中の日付で管理しています。

当社自身のセキュリティについて（Trust Center）